

入塾のご案内

To the Top of Tops!!



「一高・二高TOPPA館」とは

仙台二華中や開成中などの難関中学への合格実績を残してきた「俊英四谷大塚小学部」の指導ノウハウと、宮城県の高校入試に精通した「仙台進学プラザ」の指導力を兼ね備えた「俊英四谷大塚中学部」が2012年の春からスタートしました。

仙台一高・仙台二高などの難関高校へ挑戦する多くの指導ノウハウをさらに進化させ、2015年、難関校を目指す生徒のための特別選抜制の学習塾として新たに「一高・二高TOPPA館」が誕生しました。受験までに必要な学力を伸ばすカリキュラムと自己の将来像まで考えた学びを実践するシステムで、最高レベルの学力と自分と向き合う強さを養成します。



進学プラザグループ

一高・二高TOPPA館

特別選抜制 「一高・二高TOPPA館」

圧倒的実績の **6つ** の理由

① ライバルのレベルの高さ

一高・二高TOPPA館では、使用教材・授業いずれもハイレベルな内容となっています。選抜制のため、下記の①・②・③の基準のいずれかを満たした方が対象となります。

- ① 最新の9教科の通知表の
評定**4.5**以上（基幹校） / **4.2**以上（衛星校・特別校）
- ② 前回の5教科の定期テストの
合計点が**450点**以上（基幹校） / **420点**以上（衛星校・特別校）
- ③ 入塾テストまたは進学プラザグループ協賛の模擬試験の
点数が**基準点**以上

入塾テストで学力診断を行います

- 対象:小4生～中3生
- 科目:小学生／算数・国語
中学生／英語・国語・数学
※随時受付中です。



▲ 授業の様子

② 講師レベルの高さ

一高・二高TOPPA館では、研修を重ね、高校入試に精通した講師による本格授業が行われています。全国教育指導者育成協会（JELTA）が主催する「日本教育士検定」認定講師も多数在籍しています。

■「日本教育士検定」とは

一般社団法人 全国教育指導者育成協会（JELTA）が主催する検定で、筆記試験と模擬授業検定を通じて以下の3つのセグメントに該当する指導者が認定されます。

- ・プロフェSSIONAL教育士 ・エキスパート教育士 ・マイスター教育士



日本教育士検定 JELTA
全国名教師授業大会

③ 本番力を鍛える模擬テスト

公立高校入試が一本化されて、以前よりも高い本番力が中学生に求められています。受験するチャンスが一度しかない緊張感の中で戦うこととなります。ここ一番でしっかりと自分の実力を出し切るためには、何よりも「**本番を想定した試験を何度も繰り返し、慣れること**」が必要です。また、一度解いた問題を分析することで自分の立ち位置や得意・不得意を把握することができます。

■進学プラザグループ協賛の模擬試験



仙台一高・仙台二高・仙台三高・宮城一高・仙台二華高などのTOP校を目指す生徒を対象とした、難易度の高い模試です。昨今高校入試に増加している思考力を試す問題や、小・中学生に求められる記述・表現力を試す内容となっています。同じ志望校を目指すライバルたちと争うことで、志望校までの距離を測るだけでなく、今後の学習の指針を立てることができます。

④ 圧倒的な情報量

一高・二高TOPPA館の強みは講師や進学実績だけではありません。県内トップレベルの豊富な情報量を、定期的な面談、教室で実施する説明会、進学説明会などでご提供していきます。変化していく入試に対応していくためには、常に最新の情報把握する必要があります。ぜひ、情報をお役立てください。

▼面談室



▲進学説明会

⑤ 最高の学習環境

一高・二高TOPPA館では、お通いの方であれば教室開校日はいつでも自習室がご利用いただけます。学力向上のためには、**授業がない日にも努力することが必要不可欠**です。学習に集中できる環境の中で学力アップを目指しましょう！また、長時間塾に滞在したい場合には、休憩をとることができるリフレッシュルームを利用できます。やる気のある生徒にとって最適な環境をご用意してお待ちしております。

▼自習室



▲リフレッシュルーム

⑥ 大学合格にも役立つ学力指導

一高・二高TOPPA館は、仙台一高・仙台二高をはじめとするTOP5校上位合格はもちろんのこと、その先の大学受験にもつながらる学力を養うハイレベルな学習塾です。

現在、大学入試では高い学力、幅広い教養を問われる傾向にあります。しかし、中学生のころから十分な学力が備わっていないがために、高校に入ってから授業についていけなくなるケースも増えているのが現状です。一高・二高TOPPA館では、受験テクニックではなく、物事を論理的に考える知力そのものを鍛えることによって、志望校合格はもとより、**将来の大学受験を見据えた、真の学力を養成**します。あこがれの高校・大学に合格することは、受験生たちにとって最大の目標です。そのために、進学プラザグループは最高の学習環境を用意し、全力でサポートしていきます。一高・二高TOPPA館が目指すのは、本当の学力を身につけたトップレベルでの合格です。

さあ、一緒に高みを目指しましょう！

TOPPA館の小学生の学習



国語・算数（小学 4・5・6年生）

◆高校入試で差がつく教科の早期完成を目指す

①学校では養いにくい「初見」の文章問題の攻略

国語の授業では、読解力を身につけるために、初めて見る文章問題に触れ、文章の主題を考えると同時に設問に対する答え方を伝授します。算数の授業では、文章問題や図形の応用問題など難易度の高い問題を通して、考える力を養います。周りのライバルに差をつけられます。

②漢字、計算問題で基礎力を底上げ

毎週の宿題に国語の漢字の読み書きと算数の計算問題を出題しています。翌週に宿題範囲から確認テストを実施しますので、基礎固めが完成し、さらに学習習慣も身につきます。

社会・理科（小学 5・6年生）

◆中学校で本格的に学ぶ前の先行体験を通して、興味関心と思考力の土台を育てる

①中学校内容の先行体験

これから中学校で本格的に学習する内容につながる基本事項を、図や具体例を用いてわかりやすく整理します。社会では歴史・地理・公民の背景に触れ、理科では身近な現象のしくみを学ぶことで理科・社会への興味関心や知的好奇心を育てます。

②思考力の土台づくり

入試では、社会の資料記述問題や、理科の実験結果をもとに考察する問題が多く出題されます。こうした問題に対応するには、知識の暗記だけではなく、「なぜそうなるのか」を理解し、自分の言葉で説明する力が必要です。小学生のうちから背景や理由を考える経験を積むことで、中学校以降の学習や入試で求められる思考力の土台をつくります。

英語（小学 5・6年生）

◆小学校から中学校へ教科のギャップが最も大きく入試の難化が顕著である教科へのアプローチ

①4技能の中でも「書く・読む」を意識したカリキュラム

小学校の英語教育は「話す・聞く」が中心ですが、中学校になると「書く・読む」が中心になります。この求められる能力の異なる点が、ギャップを生みます。先んじて練習を重ね、英語学習を低学年から実施することで、苦手意識が芽生えることを無くします。

②必要とされる語彙力の定着

小学校で習得する単語数は約400～600語、中学校では1600語～1800語と言われています。しかも、中学1年生では小学校の単語は覚えているという前提で進みます。単語・文章を書きながら読んで発音する授業のため、楽しく習得を図ります。

③英検などの受験に対応した試験の実施ができる

近年英検の取得が大学入試の出願資格になったり、宮城県の高校入試でも有効に活用できます。進学プラザグループでは、英検も実施しているため、日頃の学習進度に合わせて、受検級を決め習得度合いをしっかりと確認しよう！

TOPPA館の中学生の学習

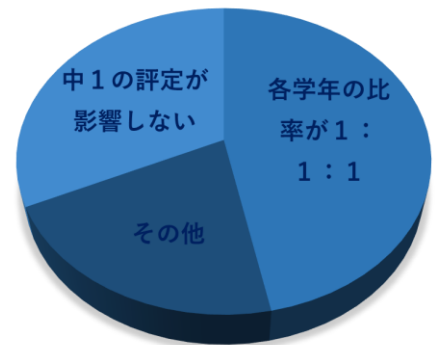
TOPPA館は『予習先行学習』のカリキュラムで、学習を進めています。
なぜ予習先行型なのか。これにはきちんと理由があります。

◆ 評価（内申点）を確保する

公立高校入試はいつから始まっているか。
それは中学1年生から始まっていると私たちは考えます。
全国的に見ると宮城県は、使用する評価の比重において
全国1位タイで、非常に重要視されています。

だからこそ、評価の確保のための準備として予習を
塾の授業で行い、atama+で基礎の定着を図り、宿題
で演習をし、学校で復習する。この流れを常に続ける
ことでわからないを事前に見つけ、克服を図り、定期
テストでの良い結果につなげることができます。

各都道府県
各学年の内申点の内訳



【宮城県の内申点の計算方法】
 国・数・社・英・理 → 評価がそのまま点数化
 音楽・美術・保体・技家 → 評価を2倍して点数化
 を各学年ごと算出します。（195点満点）

◆ 定期テストだけでなく実力テストや模試でも好成績を目指す

よく「定期テストは点数が良いのに、模試などで点数がとれない・・・」
といったご相談をいただきます。おそらく定期テスト前には、学習をきちんとさ
れていると思います。不足しているのは「テストの経験」と「定期的な既習内容
の復習」ではないでしょうか。

TOPPA館では、年6回の塾内模試と年3回の一高二高突破模試を必修で受験
いただきます。自分の弱点がどこにあるのか把握することはもちろん、制限時間
内に問題を解き切る練習ををするためです。

また講習会では、既習事項の中から入試頻出の重要事項をきちんと習得してい
るか、演習・確認を行い、定期的な復習を授業の中でも実施しています。

◆ 公立高校入試対策期間の最大化



TOPPA館の中3のスケジュールは、特に特徴的で9月までに中3内容を習得す
ることを目指します。早いと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、これ
こそがTOPPA館から難関校合格者を多数輩出しているポイントでもあります。

10月以降は、宮城県公立高校入試の過去問や予想問題などを使用して徹底的
に入試に向かって準備を進めていきます。入試対策期間が長くとれる点が、高難
易度の問題を多く練習でき、こうした問題への抵抗感も薄目られます。さらに時
間管理の練習を徹底し、答案作成能力を身に付けていきます。

一高・二高TOPPA館 × atama+



“授業の価値を最大化” 一人ひとりに最適な学習で 定着を図れるのが atama+

「苦手になってしまった教科は、ずっと苦手なままなの？早く追いつきたい。」

「今の点数じゃ満足できない。ライバルにもっと差をつけたい。」

あなたの理解度や弱点に応じた学習をすれば、着実に学力を伸ばすことができます

atama+ を使った学習の特徴

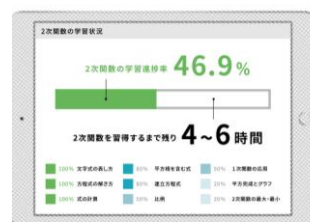
先生は、データを活用して
定着に向けた学習法を指導します。

授業中は先生が生徒の状況をリアルタイムで把握します。ノートの取り方など従来からの重要な要素に加え、“解説を読んでいない”、“誤答が続いている”などデータでこそのわかる事実を元に、その場限りでない理解定着に向けた指導を行います。



家での学習状況も
塾の先生とAIが完全サポート。

生徒の勉強は1問1問データが残り、学習時間/学習日数などの姿勢面も見える化されます。これによって先生は、自宅や自習室での勉強も把握、サポート可能に。学習中の不明点は atama+ の中で質問・解消することができます。



TOPPA館 × atama+ の成功の秘訣



一高・二高TOPPA館では先生の授業後に、atama+で基礎・基本の徹底を図ります。基礎基本が整っていないと、難易度の高い応用問題を解けるようにはなりません。先生の授業とatama+を掛け合わせた、TOPPA館オリジナルの仕組みで着実に成績向上に至ります。



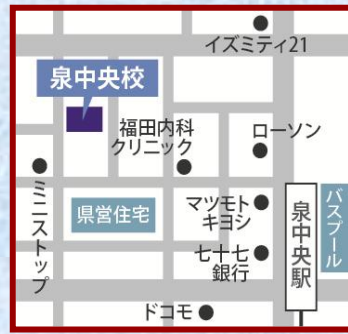
【動画】3分でわかる atama+

atama+の考え方が簡潔にわかりやすくまとめられている動画です。左のQRコードを読み取ることで視聴できます。

進学プラザグループ
一高・二高
TOPPA館
校舎一覧



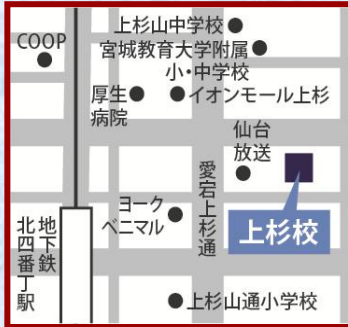
基 仙台本部長校
仙台市宮城野区榴ヶ岡101-1



基 泉中央校
仙台市泉区泉中央1-20-3



基 あすの長町校
仙台市太白区長町6-7-18



基 上杉校
仙台市青葉区上杉5-8-62



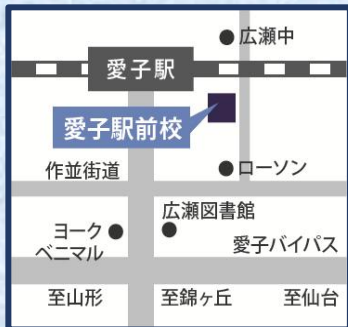
基 八幡町校
仙台市青葉区柏木2-1-5



特 上杉山通校
仙台市青葉区上杉1-8-17 2F



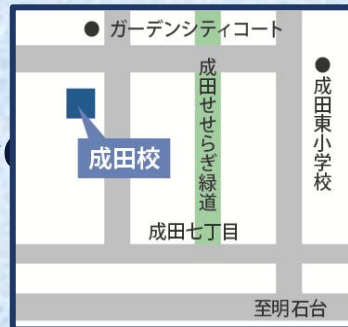
衛 五橋校
仙台市若林区土樋104



衛 愛子駅前校
仙台市青葉区愛子中央1-2-35



衛 荒井校
仙台市若林区荒井東1-4-7



衛 成田校
富谷市成田4-18-5



衛 名取駅前校
名取市増田4-7-30 1F



衛 岩沼中央校
岩沼市中央1-5-18



衛 多賀城校
多賀城市東田中2-40-3

アイコンの
見方

基 :基幹校

遠方からも生徒が集まる
拠点校舎です。より多くの
生徒と切磋琢磨することが
できます。

衛 :衛星校

定期試験対策をはじめと
した地域に根差した指導を
行う強化校舎です。

特 :特別校

小学1~3年生の低学年の
方も通常授業を受けられる
特別校舎です。



進プラのホームページ
からお問合せいただけ
ます。左記のQRコード
を読み取り、フォームに
必要事項をご入力の上、
お送りください。

私たちは、皆さんの目標達成を本気で応援します。
一緒に、あなたの夢を実現させましょう!!

